

＜建設業経理士 1 級（財務諸表）ミニテスト 3＞期間収益の認識と測定

工事契約に関する会計基準によれば、工事の進行途上においてその進捗部分について成果の確実性が認められる場合には、工事進行基準を適用する、とある。

成果の確実性が認められるための要件を述べ、そのうち最も重要なポイントをあわせて述べよ。

<解答>

①工事収益総額、②工事原価総額、および③決算日における工事進捗度の各要素について信頼性をもって見積ることができること

最も重要なポイントは①工事収益総額の信頼性をもった見積もりである。同会計基準によれば、そのための前提条件として、「工事の完成見込みが確実であること」と「工事契約において対価の定めがあること」が必要としている。